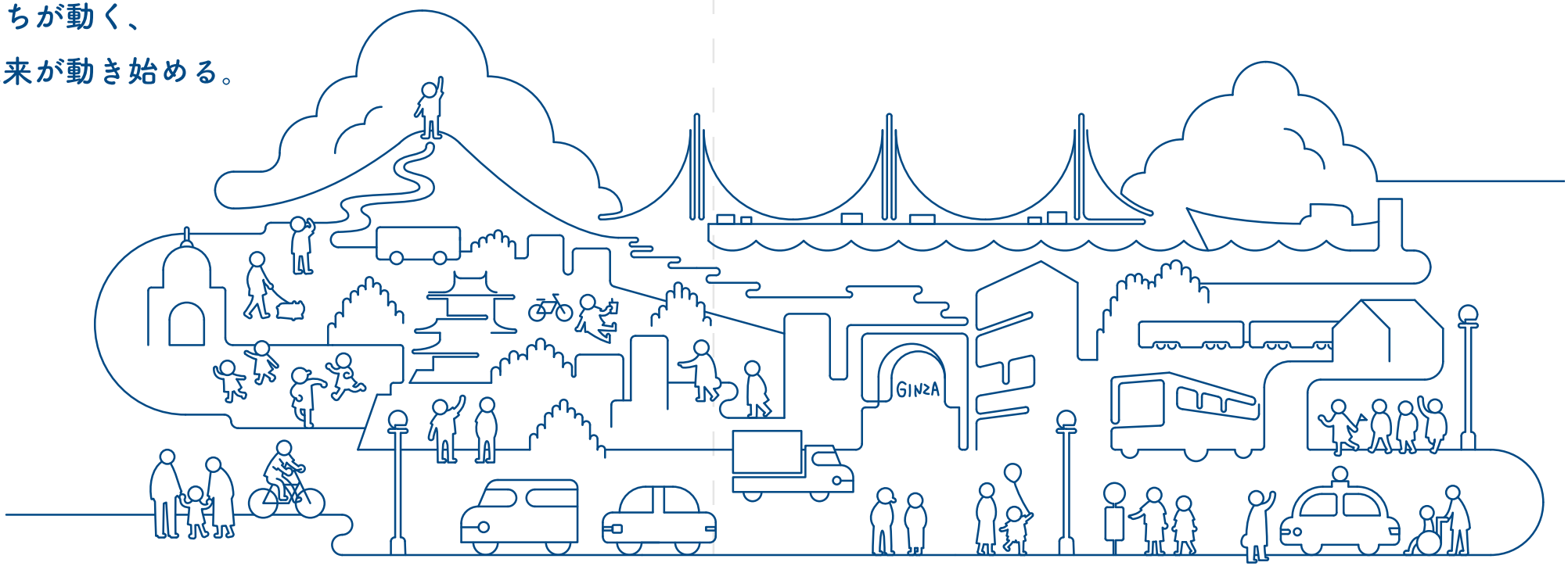
今治
SUMP

人をつなぐ。
まちをつなぐ。
未来をつなぐ。

あらゆる人の移動が、
未来のまちをつくる。

人が動く、
まちが動く、
未来が動き始める。



結ぶ。

まだ見えていない声を、
丁寧に聞く。

描く。

対話を重ねながら、
未来の風景を描いていく。

巡る。

人も、時間も、想いも、
未来へ巡り続ける。

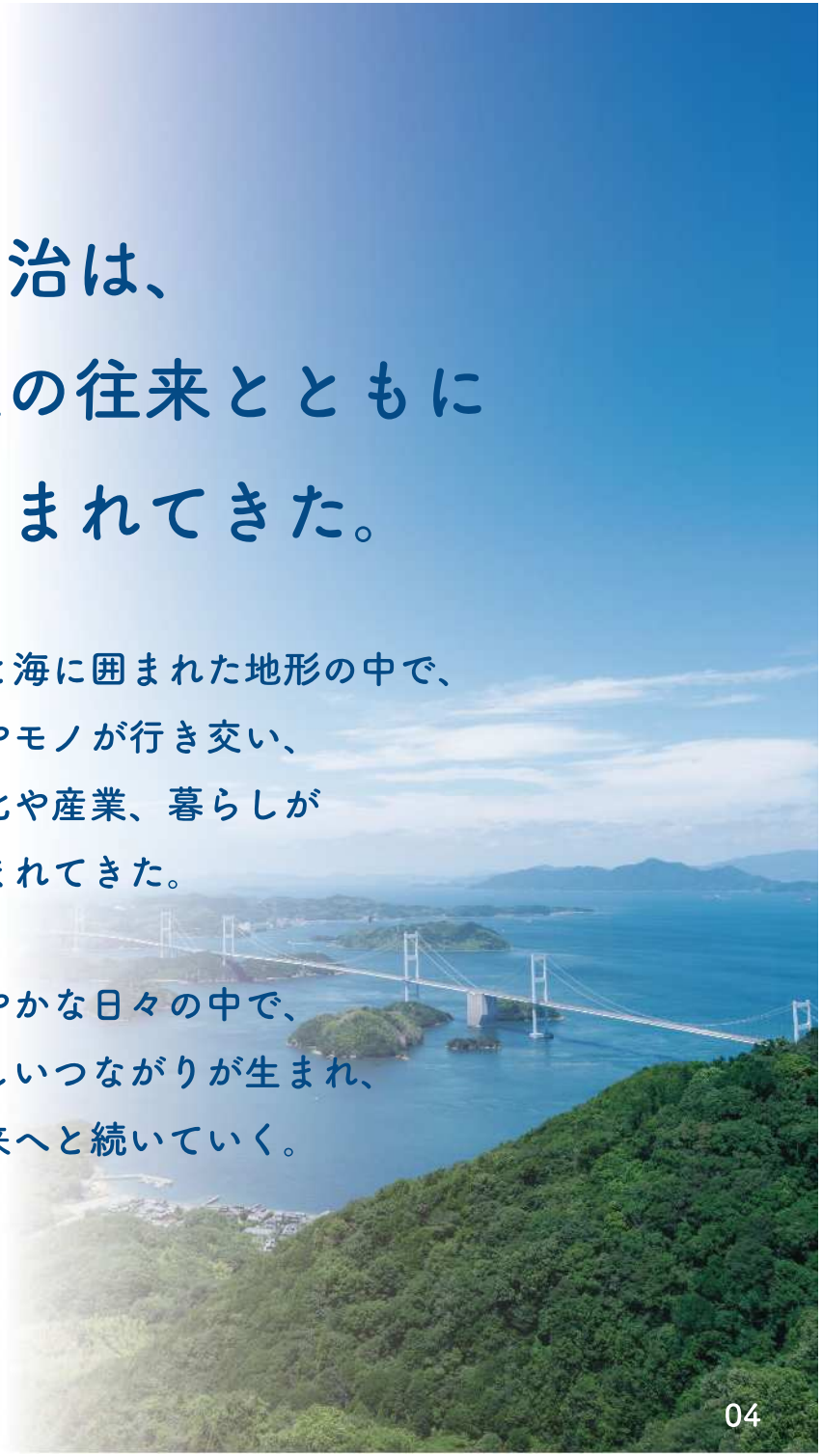
紡ぐ。

小さな一歩を積み重ね、
今治らしい未来を紡いでいく。

今治は、
人の往来とともに
育まれてきた。

山と海に囲まれた地形の中で、
人やモノが行き交い、
文化や産業、暮らしが
育まれてきた。

穏やかな日々の中で、
新しいつながりが生まれ、
未来へと続いていく。

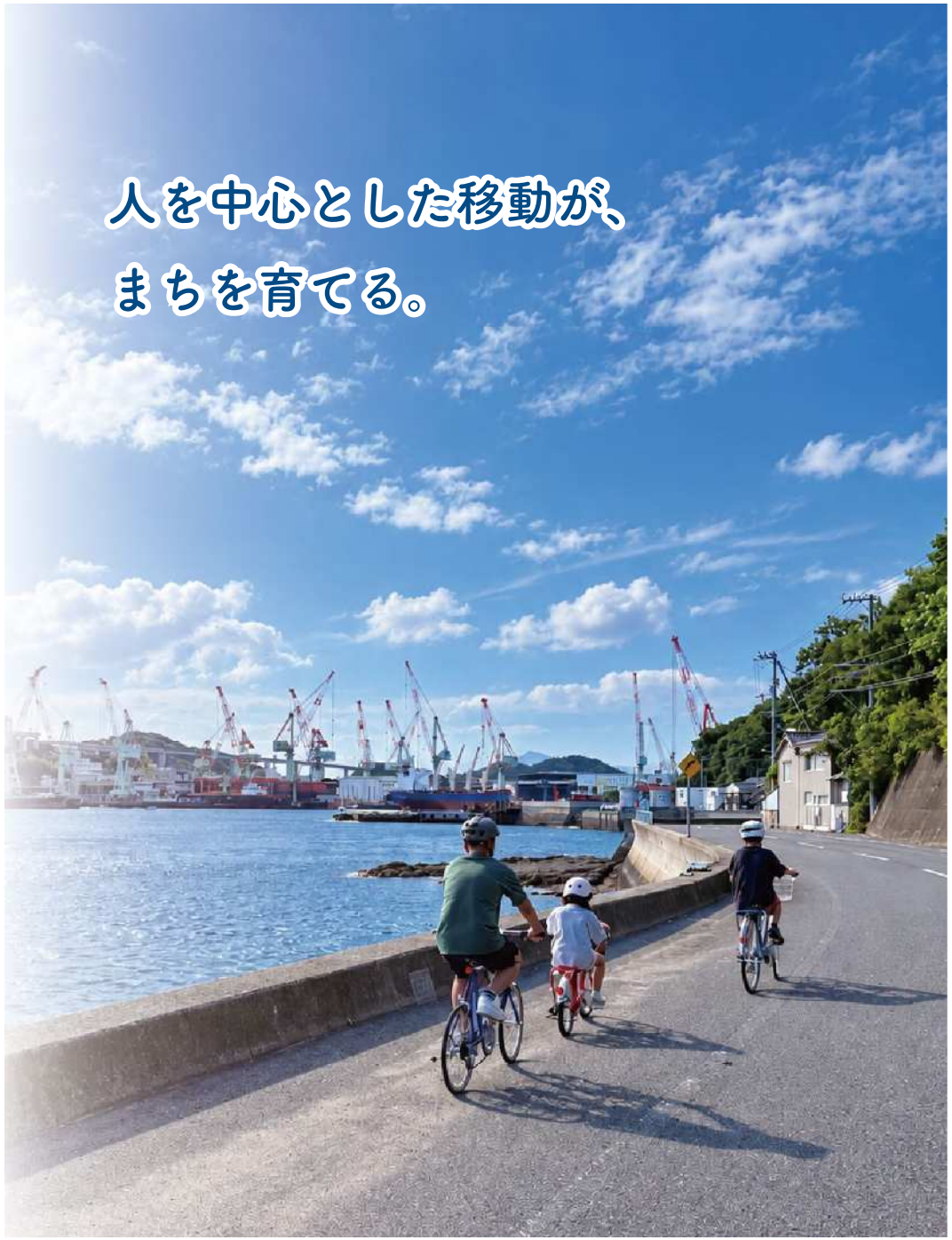


なぜ、
今治で SUMP なのか。

人口約 14 万人。
島々と山に囲まれたこのまち。
しまなみ海道がつなぐまち。

このまちだからこそ、
人のつながりが生まれる。
人の往来とともに、
そのつながりが、
未来を動かしていく。

このまちだからこそ、
持続可能な移動とまちの未来を、
今治から。



今あるつながりを知る。

市民の声を聞く
対話を通じて、移動の課題を集める。

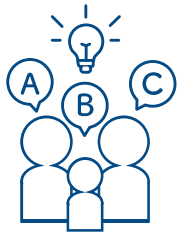
現状を見つめる
市民の声やデータから、
今の姿を捉える。

つながりを見つける
人・地域・資源のつながりや
可能性を探る。

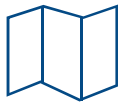
未来のつながりを描く。



未来を想像する
みんなで理想のくらしや
まちの姿を描く。

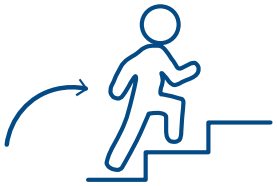


アイデアを育てる
多様なアイデアを持ち寄り、
かたちにしていく。



計画に反映する
描いた未来を計画に落とし込み、
みんなのものにしていく。

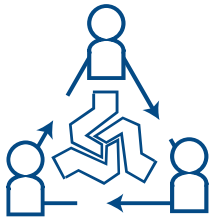
未来への一歩を始める。



小さく始める
できることから、
まず一歩踏み出す。



試して、学ぶ
やってみて、振り返り、
よりよくしていく。



みんなで進める
市民・行政・事業者が
ともに取り組む。

この計画は、
完成を目指すものではありません。

社会が変われば、
移動が変わる。
移動が変われば、
くらしは変わる。

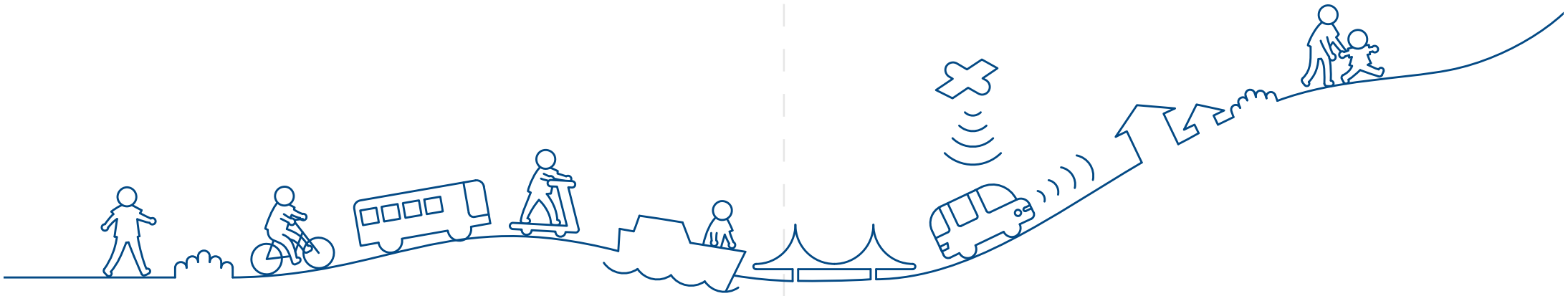
だから、
この計画も育ち続けます。

対話を続け、
見直し、
よりよい明日へと歩み続けます。

ここから、
今治の未来が動き始める。



ともに育てていく
今治 SUMP



移動からくらしを考える

Imabari Sustainable Urban Mobility Plan